

## リーキ 調査方法

### 1. 試験区ならびに調査対象株数および面積

項目	必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)※
試験区(1区当たり)	4畝×25株=100株 (4畝×15株=60株)	9.0m <sup>2</sup> (5.4m <sup>2</sup> )
生育・収量調査 (1区当たり)	20株	1.8m <sup>2</sup>

※畝幅90cm、株間10cm(1株1本)、a当たり1,111株(1,111本)としたときの面積

※ねぎの培土方法に準じて畝間90cmとした。

※ねぎのチェーンポット育苗に準じた上でロングピッチチェーンポットを活用して株間10cmとした。

2. 耕種概要

項目	単位	備考	
栽植密度	株数	(株/a)	1株1本植え
	畝幅	(m)	
	株間	(m)	1株1本植え
1区面積		(m <sup>2</sup> )	
反復数		(反復)	
播種期		(月日)	
定植期		(月日)	
最終培土期		(月日)	
収穫期		(月日)	
培土後日数		(日)	
生育全日数		(日)	
前作物			
堆肥施用		(kg/a)	
基肥量	N	(kg/a)	
	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	(kg/a)	
	K <sub>2</sub> O	(kg/a)	
分施量	N	(kg/a)	
	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	(kg/a)	
	K <sub>2</sub> O	(kg/a)	
分施施用日		(月日)	
土壤区分			
土性			
腐植含量			
殺菌剤		(月日)(薬剤名)	
殺虫剤		(月日)(薬剤名)	
除草剤		(月日)(薬剤名)	

## 7. 調査上の留意点

- 1) 収穫調製後の規格分類(葉鞘径(長径))は、実需者ニーズに対応して設定する。

### 3. 生育調査

項目		調査基準等	ランク	調査方法	調査単位	調査最小桁
発芽	期	播種粒数の40～50%が発芽した日	A	観察	月日	1
	良否	発芽一斉程度 5(良)～3(中)～1(不良)	B	観察	指数	1
	率	発芽本数÷播種粒数×100	A	測定	%	1
定植時苗(写真1)	草丈	茎盤部より上(剪葉管理時は剪葉有りと記載)	B	測定	cm	0.1
	葉数	2.5cm以上の葉	B	測定	枚	1
	葉鞘径	茎盤部より1cm上	B	測定	mm	0.1
	一本重	(根は含まない)(可能であれば根のみ別に測定する)	B	測定	g	0.1
圃場生育(適宜)	草丈	地際部より上	B	測定	cm	0.1
	葉数	5cm以上の生葉で緑色部を1/2程度残す葉数	B	測定	枚	1
	葉鞘径	地際部	B	測定	mm	0.1
立毛	葉色	5(濃)～3(中)～1(淡)	B	観察	指数	1
	欠株率	(植付本数－収穫本数)÷植付本数×100	A	測定	%	1
障害発生程度	奇形・過小	障害の種類別(カッコ内数値は発生本数割合)	B	観察	指数	1
	抽台	5:無(0%:発生が認められない)				
	葉先枯れ	4:微(1～9%)				
	葉枯病	3:少(10～19%)				
	腐敗病	2:多(20～39%)				
虫害(ネギコガ等)	1:甚(40～100%)					
生育期間	培土後日数	最終培土後の日数	A	算出	日	1
	生育全日数	播種～収穫期までの日数	A	算出	日	1
収穫(写真2)	期	標準栽培の40～50%の本数が収穫可能な日	A	観察	月日	1
収穫時(調製前)(写真3)	草丈	茎盤部より上	B	測定	cm	1
	葉数	5cm以上の生葉で緑色部を1/2程度残す葉数	B	測定	枚	1
	一本重	(根は含まない)	B	測定	g	1

### 4. 収穫調査(調製後)

(※調製方法:圃場から収穫後、葉鞘に障害がある葉位の葉を落とし、緑色部を一定の形で切り落として形を揃える。規格内の条件は、実需者ニーズに依るが、一般に生理障害や病虫害が発生していないもの。)

項目		調査基準等	ランク	調査方法	調査単位	調査最小桁	
一本重		(根は含まない)	A	測定	g	1	
葉鞘径(写真4)		茎盤部から10cm上の長径	A	測定	mm	1	
葉鞘長(写真4)		茎盤部から最老葉葉身基部までの長さ	B	測定	cm	1	
軟白長(写真4)		茎盤部から培土軟白境界までの長さ	B	測定	cm	1	
調製率		一本重÷調製前一本重×100	B	算出	%	1	
障害発生程度	生理障害	奇形・過小	(奇形または過小本数)÷収穫本数×100	B	測定	%	1
		抽台	抽台本数÷収穫本数×100	B	測定	%	1
		分けつ	分けつ本数÷収穫本数×100	B	測定	%	1
		曲がり	(垂直線に対し横方向に曲がりか3cm以上の本数)の割	B	測定	%	1
	病害	葉枯病	各病害本数÷収穫本数×100	B	測定	%	1
		腐敗病	(病害重複時はそれぞれにカウントすること)	B	測定	%	1
		虫害	個別記載	B	測定	%	1

### 5. 収量調査

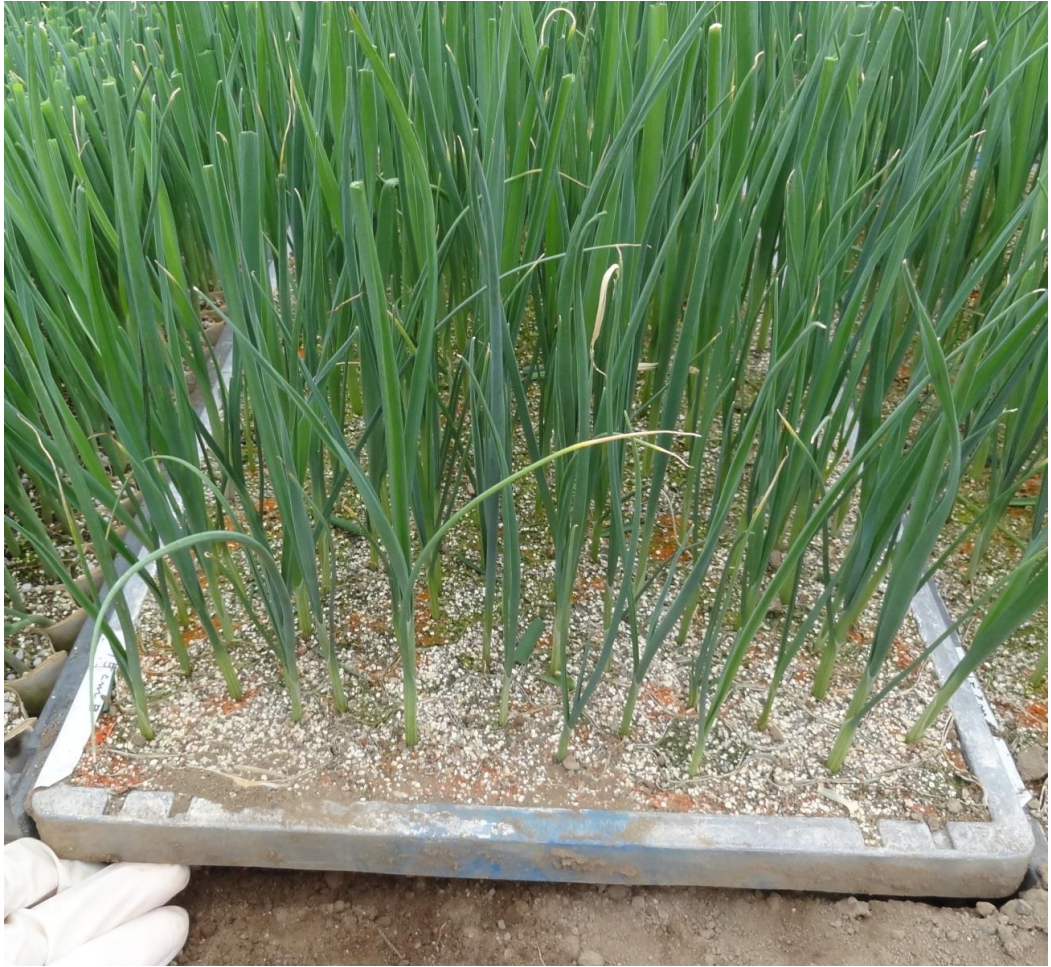
項目		調査基準等	ランク	調査方法	調査単位	調査最小桁	
収量	規格内	2L	5.0cm以上(茎盤部から10cm上の葉鞘径(長径))	B	測定	kg/a	1
		L	4.0～4.9cm(同)	B	測定	kg/a	1
		M	3.0～3.9cm(同)	B	測定	kg/a	1
		S	2.9cm以下(同)	B	測定	kg/a	1
		合計	規格内(2L～S)の合計	A	算出	kg/a	1
	規格外	生理障害	奇形・過小、抽台、分けつ、曲がりなど	A	測定	kg/a	1
		病虫害	病害、虫害	A	測定	kg/a	1
		合計	生理障害+病虫害	A	算出	kg/a	1
	総収量	規格内収量+規格外収量	A	算出	kg/a	1	
	本数	規格内	2L	5.0cm以上(茎盤部から10cm上の葉鞘径(長径))	B	測定	本/a
L			4.0～4.9cm(同)	B	測定	本/a	1
M			3.0～3.9cm(同)	B	測定	本/a	1
S			2.9cm以下(同)	B	測定	本/a	1
合計			規格内(2L～S)の合計	A	算出	本/a	1
規格外		生理障害	奇形・過小、抽台、分けつ、曲がりなど	A	測定	本/a	1
		病虫害	病害、虫害	A	測定	本/a	1
		合計	生理障害+病虫害	A	算出	本/a	1
総本数		規格内本数+規格外本数	A	算出	本/a	1	
規格内本数割合		規格内本数÷植付本数×100	A	算出	%	1	

### 6. 特性調査

項目		調査基準等	ランク	調査方法	調査単位	調査最小桁
調製の難易		外葉剥き調製時の実感(5(易)～3(中)～1(難))	B	観察	指数	1
	軟白境界	緑色と白色の境界(5(明瞭)～3(中)～1(不明瞭))	B	観察	指数	1

外観	葉色	葉色濃淡の観察(5(濃)~3(中)~1(淡))	B	観察	指数	1
	総合	5(良)~3(中)~1(不良)	B	観察	指数	1
食味官能評価 (加熱)	軟らかさ	5(軟)~3(中)~1(硬)	C	観察	指数	1
	甘さ	5(強)~3(中)~1(弱)	C	観察	指数	1
	辛さ	5(弱)~3(中)~1(強)	C	観察	指数	1
	総合	5(良)~3(中)~1(不良)	C	観察	指数	1







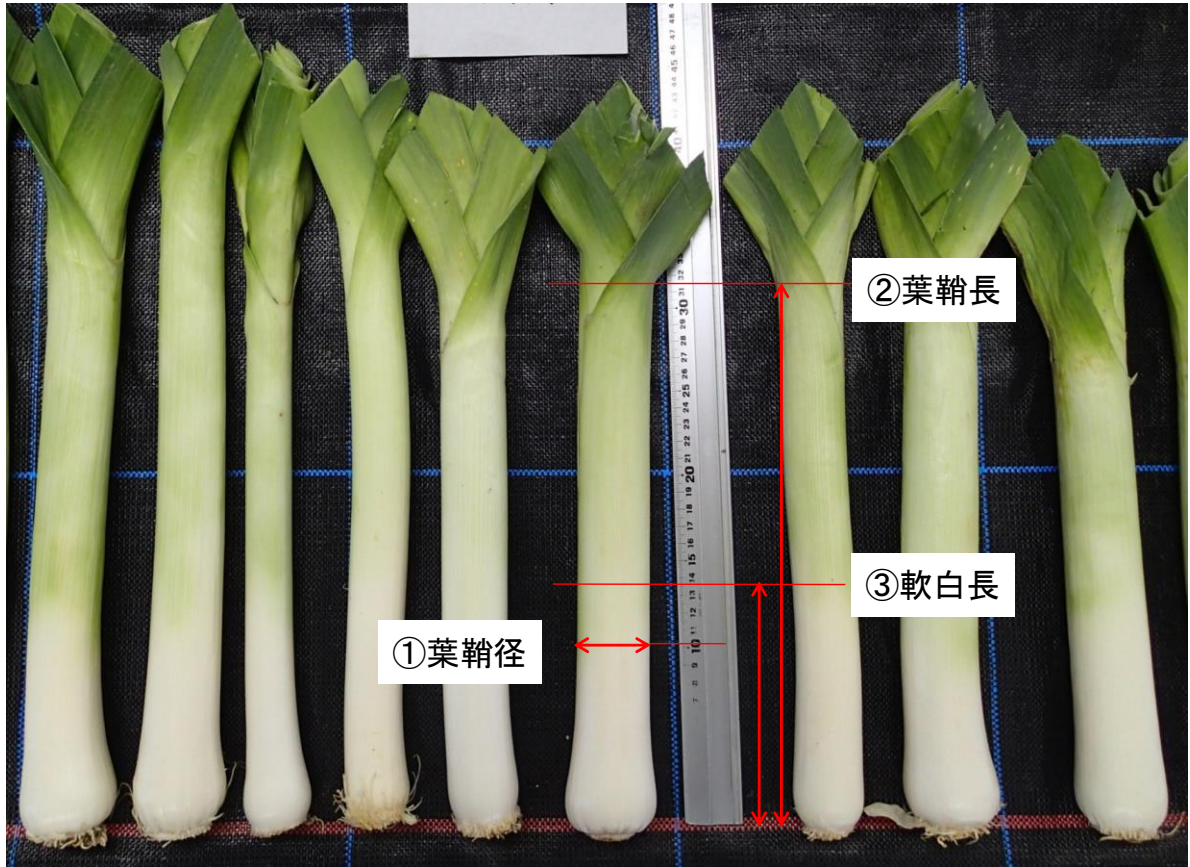












\_\_\_\_\_